



北海道方面

辨溪花畑間道路開鑿

北海道カルルス温泉の開拓者日野久橋翁が、歴代の支廳長や土木所長に迫り、不斷の努力を續けて來た辨溪、カルルス間の道路は機運到來本年からいよ／＼久保内、辨溪、お花畑まで約四里の間を開鑿されることになつた。カルルスとお花畑間は明年引續いて着手され、茲に洞爺湖、辨溪、カルルス、登別温泉の環狀線を樂々と一周出来ることになる。登別とカルルス間の自動車は雪割を行ひ、例年なら五月の處今年は去る四月十日より運輸を開始して居り、近く

浴場等も改築に着手の豫定である。

道路橋梁の工事個所

本年度に於ける道路橋梁工事箇所は

- (一) 道路新設の分
 - 千歳村烏柵舞躰化場支笏湖間 第二工區 (三里二十四町七十五間) 清水澤紅葉山間 第一工區 (三十二町五間) 幌泉村庶野猿留間 第二工區 (十六町三十三間) 右左府村岩知志間 第四工區 (十七町二十三間) 壯警村カルルスベンケ間道路 (四里一町九間) 靜内町萬揃碧藥間 (一町三十七間) 浦河町西舍杵臼間 (五町二間)
- (二) 道路改良の分
 - 野花南富間第一工區 (十八町二十間) 西

法寫濱益間第二工區 (廿六町一間) 壯警村瀧ノ上沖洞爺間 (二町十一間) 幌泉村伏見橋左岸追分峠下 (二十九町一間) 室蘭市崎森町伊達町大字黃金藥間 (十八町二十間) 安平村追分地内 (十五町十間) 平取村コヒラ地内 (二町四十六間)

(三) 道路新設豫備線

白老德舜管間 (三里) 平取村ヌモトル上貫氣別間 (一里十六町四十九間) 德舜管村オロウエン、シリベツ原野道路 (一里三十五町五十一間)

(四) 道路改良豫備線

平取村二風谷看々坂間 (二十六町三十五間) 幌村登別温泉地内 (三町五間)

東 北 方 面

完成した岩出山大橋

橋梁オンパレードの觀ある宮縣縣では、最近また一ツ玉造郡岩出山大橋が見事に完成した。同橋は昨年九月末から失業救濟事

業として總工費八萬七千圓で起工し橋梁十八本、有効幅員三間半、全長百三十間、アイビーム式の堂々たるもので、鐵筋混凝土橋としては縣内隨一の長橋である。着工以來の出役人夫延人員は四萬餘人、危ぶまれた冬期工事も好天に恵まれて、本工事期間僅々六箇月といふレコード破りの進捗振りを示した。開通式は五月五日の吉辰を選んで舉行する筈で、岩出山町を筆頭に各關係町村では種々の趣向を凝らして居る。

内海橋工事の近狀

石ノ巻の内海橋架替工事は西側の取毀しも大半終了し、一方東側も着々進工して居り町當局が希望する八月初旬北上川の川開きまでに完成するやう縣當局も極力工事を督勵して居るが最近降雨のため増水し、相當支障を來してゐるので、川開きまでに東側の方が竣工しても西側の方は六ケしく、完成を見るのは十月中旬か下旬だらうといふので町當局では従つて川開きを十月に延

期せんとする案もあるが十月になつては涼し過ぎ天候も不良となるので、極力八月中旬に竣成するよう陳情することになつた。

江合橋の開通式

宮城縣志田郡江合橋は曩に竣工したので四月十七日午前十時から三邊知事、坂本仙臺土木出張所長以下關係各町村長等臨席の下に嚴肅な開通式が舉行され近來にない賑ひを呈した、當日式の順序や渡り初めの次第は左の如くであつた。

神事、修祓、降神、敬禮、獻膳、祭詞、

玉串奉奠、式辭、祝辭、昇神、敬禮、祝電披露、等例によりて型の如く最と嚴肅に行はれて一先づ閉式、通り初め式の模様は神官先きを拂ひ清め、知事、工事監督、内務部長、土木課長、老齡者、縣出身貴族兩院議員、縣會議員、一般來賓、小學兒童等數百本の國旗を打振り嬉々として順序正しく渡り終つて古川町長の音頭で萬歳を三唱し夜に入りても新橋上は非常の人数であつた。

前谷地和澗間改修

石ノ巻の前谷地驛前を基點として和澗に至る新縣道改修工事は、その後著るしく進捗し、殊に和澗市街地の急カーブ改修も殆ど竣成に近づいたので、東濱街道との連絡は頗る圓滑となつた、従つて本吉、登米方面の連絡は佳景山驛を利用して居たのも、新縣道完成と共に自づから前谷地利用に至るべく、同地方は非常な喜び方である。

北越地方

裏日本の道路改良計畫

日本海に面する本州各府縣の國道に就て青山内務省土木出張所長の改良計畫概要中其の主なるものは左の如きものである。現在の表日本、裏日本なる差別待遇を撤廢し比較的文明の遅れ居る日本海沿岸の施設を急ぐを前提に産業助成と交通運輸の利便に願みて道路特に國道の大改良を實施する事

裏日本の國道網も大平洋に面する國道同様に改修すること、尙大平洋沿岸の國道と並行する日本沿岸の國道と聯絡の横斷國道をも大改修する事及び管内の難道として有名な信越國境の大田切、小田切の險峠や小玉坂、新潟、富山の國境に蟠る親不知、金澤富山間の俱利伽羅峠、山形縣の萬世大路等も今日の交通運輸には適せぬから速かに改良する事。以上二大要項の實現を期するために内務省に於て直轄の國道調査會を組織し、河川調査や港灣調査會同様の機能を附與せしむる事等である。

關 東 方 面

高崎の凱旋道路

十八萬圓の豫算を投じて完成する筈の高崎市停車場前道路擴張は金澤知事より高崎市に對して工事を全速力で進歩し九月中旬に完成せしむる事となつたが、之れは目下出征中の高崎聯隊が其の頃迄に凱旋の豫定ゆ

へ之れを其の記念する凱旋道路となす計畫であつて同時に市内を貫通する國道も赤坂町迄舗装し市内の道路交通改善を計らんとするもので、是が完了した時は久しく惡道路に惱まされて居つた高崎市民も蘇生の思ひをなすべく大に期待されて居る。

駿豆自動車専用道路

駿豆鐵道株式會社が、かねて工事中であつた箱根、熱海間二十一軒の自動車専用道路は愈々來る五月中旬頃工事完成の豫定であるが、開通と同時に同路線には十六人乗の展望式車輛を選び最初は熱海、箱根双方に三臺宛を配車し計六輛で旅客の運輸に當たる豫定である。

東 海 方 面

二十五萬圓で新猿橋

日本三奇橋の一として其の奇構を誇る猿橋も山梨縣が八號國道の改築を斷行して以

來、新式交通機關の往復頻繁となり、重量車輛等も日を逐て激増し、爲めに現在の木橋にては到底耐へられなくなり、當局は勿論地方有志も此の名橋保存に苦心中であつたが、内務省土木局の前川第一技術課長が實地踏査の結果同橋保存には他に一橋を架設するより他に適當な方法なしと云ふことになり、現在の橋の上流か或は下流に近世式重量車輛の運輸交通に適する橋梁を架設して現在の名橋を保存すると云ふに決し風致關係や汽車から現在の名橋を眺めて通過するにも便する筈である。

京濱間に更に重要道路

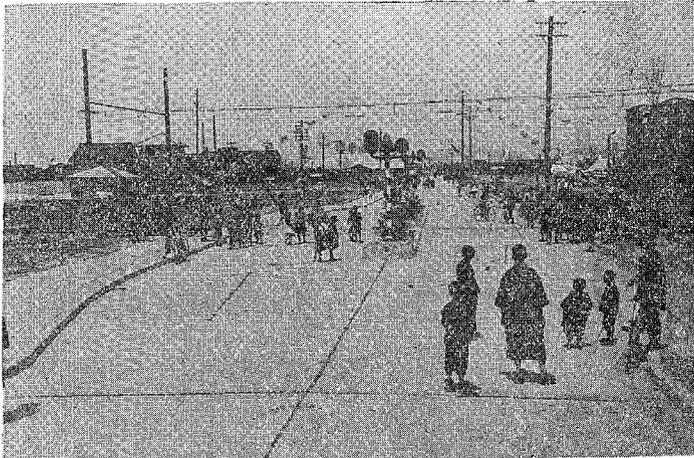
神奈川縣では東京府と協力して現在の京濱國道に並行して更に重要な大道を通ずる必要を認め著々計畫を進めて居る、神奈川縣の交通調査では數年後に於ける現在の京濱國道は輻輳して迅速を要する交通には應じ難きに到り軍事其の他の方面より之を見ても帝都と横濱間には復線の必要なること

が瞭らかとなり此の計畫が進められて居る次第である。新道路の幅員は二十六米突で神奈川縣内の延長は七千米突餘となり、大森山谷から出て多摩川に更に一橋を架設し鶴見潮田を通過して横濱市の都市計畫道路二十一號路線と鶴見八幡前で接續するもので、此の路線が出来れば埋立より工場地帯方面も非常な利便を享くる譯である。

桑名國道開通式

一號線桑名國道改良工事は豫定の通り三月三十一日竣功を遂げたので、四月十七日午前十時から西桑名町主體となり桑名町益生村合同にて西桑名町埋立地廣場に於て盛大に開通式が舉行せられた。前日來花曇勝であつた空も當日は一點の雲影もなく恵まれた朗かな日であつた。朝來よく打ち揚げられた祝砲に關係町村は開通の喜びに滿ち各戸には國旗提灯を軒に掲げ小學生徒の旗行列相撲活動寫眞の開放

等にて人出多く、時恰かも櫻花爛漫の候で



殊に揖斐川堤の花は方に満開で一層の賑ひであつた。當日は加藤拓務政務次官、辰馬

桑名國道改良工事竣功の一節

内務省名古屋土木出張所長、廣瀨三重縣知事其他地方有力者等數百名參列あり午前八時國道紀念碑の除幕式が擧げられ次で廣場に設けられたる式場に定刻一同着席を了するや、桑名國道改良事務所員の挨拶に依て修祓降神獻饌祝辭奏上型の如く行はれ、辰馬内務省名古屋土木出張所長の式辭、芥川事務所主任技師の工事報告、廣瀨三重縣知事加藏拓務政務次官其他の祝辭があつて撤饌昇神殿に行はれ、後自動車に塔乗の神官の御祓を先導として數臺の自動車を連ね新道路を疾走し芽出度開通式は終了せられた、夫れより參列員一同は西桑名町小學校に於て催された大祝賀會に臨み、第二祝宴は桑名町船津屋樓上で行はれ、桑名名妓多數の斡旋で極めて盛宴であつた。

今茲に着工前の狀況及工事竣功後の概要を述べれば、從來の國道兩桑名町區域は揖斐川右岸堤防兼用道路であつて、路幅

五・五米を有し、桑名町益生村區域は路幅四・五米乃至五・五米を有する砂利道であつて、人家連帯の市街地で屈曲多く、近時交通量の増加に伴ひ車馬の交通困難なる状態であつた。

本工事は揖斐長良橋梁取付道路西桑名町大字福島に起り縣道津岐阜線を利用擴張り略直線を以て南方に縦走し桑名町大字大福地先八重垣神社に至る延長二、三六〇米幅員一・二米である。西桑名町地内は歩車道の區別を有し車道は簡易舗装を施してある。

而して本工事は失業救済の目的を達成せんため一市二郡十八ヶ町村の失業者にして、是等市町村の登録したる者に對し三重縣社會事業協會西桑名勞働紹介所を経て使役したものであつて、其數は六萬五千餘人にして其他の使用人を合すれば七萬五千餘人に及んだのである。

本工事の完成に依て大桑名の幹線道路として此の地方は此處を中樞として伸展し發達するであらう。尙木會揖斐長良架橋の完

成と今後着手を見る國道改良工事の延長とによつて、名古屋四日市港又桑名を経て山田に通ずる交通運輸は目覺ましき繁劇を加へ全く地方各方面の面目を一新するに至るであらう。

因に内務省名古屋土木出張所長の式辭、廣瀨三重縣知事の祝辭は左の通りである。

式 辭

本日桑名國道ノ開通式ヲ舉行スルニ當リ多數諸賢ノ賓臨ヲ辱フシタルハ誠ニ欣幸トスル所ナリ

抑モ東海道ハ我國唯一ノ幹線ニシテ帝都ト神都トヲ連絡スル重要線路ナリト雖モ名古屋桑名間ハ木會揖斐長良の三大川在スルヲ以テ舊街道ハ海路ニ依ルノ外ナク交通不便ニシテ而カモ名古屋四日市桑名等都市ノ發展ハ歲ト共ニ著シク交通運輸繁劇ヲ加ヘ且ツ近時自動車ノ急激ナル發達ニ伴ヒ特ニ施設改善ヲ要スル切ナルモノアリ曩ニ愛知三重兩縣ニ於テ木會揖斐長良ノ架橋ニ着手

セラレタルハ機宜ノ計畫ニシテ喜フヘキ所ナリ

本路線は之レニ對應シテ最も緊要ナルモノト認メ昨年四月失業救済事業トシテ工ヲ起シ爾來滿一年銳意工程ノ進捗ニ努メ内ハ從業員等不眠ノ努力ト外ハ關係諸賢ノ深甚ナル援助ニ依リ七萬五千有餘ノ失業者ヲ救済シ以テ所期ノ目的ヲ達成シ本日開通式ヲ舉クルニ至リタルハ衷心ヨリ感謝ニ堪ヘサルナリ

惟フニ本路線ノ開通ニヨリ桑名西桑名町間ノ幹線道路トシテ繁榮ノ中心トナルヘク延テハ桑名市實現ノ機運ヲ促進セシムル一端トナリ誠ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ
希クハ地方人士ノ道路ヲ愛護セラル、ト共ニ大ニ利用シ尙ホ進ムテ改良工事ノ延長ニ助力アラムコトヲ
一言以テ式辭トス

昭和七年四月十七日

内務省名古屋土木出張所長

辰馬謙藏

祝 辭

桑名國道改良工事ヲ竣ヘ本日ヲトシ開通ノ式辭典ヲ舉行セラル洵ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

抑モ國道一號線ハ帝都ト伊勢大關トヲ連結スル重要幹線ニシテ其ノ使命タル特殊緊切ナルモノアリ而カモ近年ノ道路施設ハ劃期的新構築ヲ要求スルノ秋政府當局夙ニ國道改良ニ意ヲ注キ曩ニ失業救濟事業トシテ内務省直轄ニヨル縣内西桑名桑名兩町並益生村地内ノ國道改良計畫ヲ樹立シ工費三十五萬二千圓ノ巨資ヲ投シ着々其工ヲ進メ結構經營以テ茲ニ工成ル乃チ所謂參宮國道タル構造ノ堅靱望ノ壯トモニ一大偉觀ナリト稱スルモ敢テ過言ニアラサルナリ

而シテ本路線ヲ聯絡スル勢濃尾ニ亘ル掛斐長良ノ二大川ノ下部工事ハ既ニ昭和六年八月豫期ノ如ク竣成シ木曾川架橋亦愛知縣當局ニヨリ進捗シテ遠カラス第二期上部工事實施ヲ見ントス之ガ竣功ノ曉本道路ノ利用ト相俟ツテ大都市名古屋ト近接連絡スヘク

沿道地方産業ノ開發並交通ノ進展コレニ依

リ更ニ面目ヲ一新スルニ至ルヘシ

本日ノ盛典ニ臨ミ工事關係者諸士ノ勞ヲ感

謝スルト共ニ關係地方官民諸君ハ本道路ノ

利用ニ意ヲ致サレ地方産業ノ進展ニ一段ノ

努力ヲ盡サレンコトヲ

一言所懷ヲ陳ヘ以テ祝辭トス

昭和七年四月十七日

三重縣知事 廣瀨 久忠

常滑豐濱線縣道改修

愛知縣知多郡野間村地内常滑豐濱線改修工事(正藏寺西より大宇小の浦富具崎燈臺に至る)幅員四間延長千餘間(工費一萬餘圓)の大工事は目下ローラで路面軋壓をな

し、四月中に竣工し五月一日開通式舉行の

ため關係區では餘興等の準備に忙殺され居

る由なるが、之に關連して山王川河口護岸

工事竣工につき併せて祝賀會を行ふ由であ

る。尙同線泉藏院下より權現神社下に至る

延長四百間幅員四間の改修工事は五月末竣

工、六月上旬開通の筈である。

名古屋の街路鋪裝

名古屋市では第二次失業救濟道路鋪裝工事として工費二百五十萬圓をもつて次の如き九幹線道路の鋪裝工事を實施することゝなり、目下久保田道路課長の手で事業の手續中であるが其路線は

一、大曾根線 東片場より山口町を経て市電大會根終點に至る

一、公園線 赤塚より平田町、新榮町、老樹を経て公園に至る。

一、覺王山線 西裏より覺王山に至る

一、千早線 矢場町より千早町中央線踏切に至る

一、東光線 公園より高辻に至る

一、江川線 淨心より尾頭に至る

一、押切線 押切終點より淨心迄

一、本町線 岩井町通りより熱田神宮に至る

一、片端線 東片端より平田町に至る

岐阜縣の道路工事

昔から水の受難國として有名な岐阜縣下の土木事業も國營木曾川上流改修事業の完成と共に一段落の形となるので、縣では之に次で道路橋梁改修に一段と力癩を入れる方針を樹て、殊に橋梁改修は今まで比較的等閑視されてゐるので全縣下にわたつて徹底的に之を行ふべく研究調査を進めて居たが、道路橋梁を通じて約八百萬圓の工費を計上五ヶ年計畫をもつて實施する事となり主務省の諒解を得れば直ちに臨時縣會を召集本年度から實施の方針である、縣の調査した所を見ると改修を要すべき橋梁数は百三十三橋で工費一萬圓以下のは右調査外である。尙岐阜市のメーンストリート電車筋の鋪装はいよゝゝ縣側が五割五分、市側が四割五分の工費分擔で實行に確定し既に縣營を以て路盤工事が開始された。其施工區域は岐阜縣、長良柄橋間約三二町で總工費約七萬六千八百圓、路面に二寸乃至

一寸五分のアスファルトを敷き詰め長良橋はヒビの入りぬ様網を置いた上に、アスファルトを敷くはずで何れも来る九月までに面目を一新する豫定である、なほ縣では引續き高野町線その他市内の國縣道全部を鋪裝すると共に、やがては忠節橋の架替をも實現し、進んで各河川の主要橋梁の架替、改修なども行ふ方針で大々的に道路橋梁の改良を急いで居る。

關西方面

大阪の昭和橋竣工

大阪の都市計畫事業梅田九條線をつなぐ川口の木津川に架る昭和橋は五月一杯に竣工する豫定であるが、工費は約八十萬である、竣工の上は市電築港線が此の橋上から流屋橋、肥後橋を通つて梅田に通ずることにより大阪の表支關梅田方面と築港を繋ぐ重要な役割をつとめる譯である。

土山の跨線橋竣工

明加國道中の難工事であつた省線土山驛西方の跨線道路橋も美事に竣工した。道路橋兩側には六甲ドライヴウエーに設けられて居ると同様な防護網が張られ、自動車その他がブツつかればグーと伸びるが又元通りに回復するといふので新施設と評判されて居る。

中國方面

鬼神谷橋完成

城崎郡竹野村鬼神谷三椏竹野線縣道竹野川に架設の鬼神谷橋は、昨秋以來鋭意工事中であつたが此程其の竣工を見るに至つた同橋は昭和五年八月一日の大洪水で流失した爲め復舊工事として架橋されたもので延長四十四米、有功幅員四・八米、全部鐵筋コンクリート造で高欄は人造石の洗出し之れに鑄鐵の格子を入れ、欄柱四本は北米産

の花崗岩を用ひた堂々たる近代式的橋梁で同地方に異彩を放つて居る。

姫谷峠の改修工事

備後の箱根山と稱された縣道中の難所、深安郡廣瀬村姫谷峠は昔から旅人を悩ます妖妃の險と稱され、字曲りの峻坂難路は南北備後路の交通文化に多大の障礙を投じて來たが、今回の失業救済道路工事によりて急坂は除かれ、凹所は盛土により舊態を改めつゝあるが、尙工程二割を残して居る、之も五月中旬迄には殆んど完成する見込みである。急峻なる難路に於ける作業は頗る危険と不便に禍されて居るが、農村従業者の眞摯な態度と、熱誠なる努力とは豫期以上の効果を収めて居る。完通の曉は南北備後を連鎖する交通量の激増と繁榮に異狀の發達を齎らす事と期待されて居る。

姫路の道路舗裝獎勵

最近時運の發展に連れ諸般の施設に近代

地方通信

都市としての充實に歩を進めて居る姫路市では、目貫きの大通りは全部舗裝を了したが、尙市内多數の道路は未舗裝となつて居るので、市では此の際内規を設定して舗裝を獎勵すべく市道舗裝工事費地元寄附金並に側溝工事費負擔制度を設け四月一日より實施することとなつた。既に此の内規によれば市道の舗裝はコンクリートを基調とし、地元申請により舗裝施工の場合は舗裝面積總工費の二分一を地元町より寄附せしめ二分一は市費を以てし、コンクリート以外の舗裝を地元にて希望する場合は差額を寄附せしめ、又道路側溝施工の場合には民有地に屬する側壁工費は地元又は地主の負擔とすることに決した。

道路愛護の成績佳良

高田郡船佐村及び來原村では、數年前から年四回道路改良愛護運動を規則正しく實行して居る。男女學生及職員、青年團、在郷軍人等は隨時道路の修理或は除草に従事

し、年二回の道路共進會にも賞讃を博して居るが、本年も一層美化の徹底をはかるため、去る四月兩村は連絡して一齊に道路美化の奉仕作業を實施した。此の日は午前七時から國縣道の凹凸修理、除草、農作道の修補測溝浚渫等に延長四百六十餘町は面目を一新した。

定屋橋の架替起工式

豊田郡長谷村から田野浦村に通ずる沼田川に架す定屋橋の架替工事起工式は、四月十日午前十時から同所で莊殿裡に行はれ、正午式を終へ橋の南側沼田河原砂上に十間四方の幔幕を張り、八十餘名の來賓に折詰の饗宴をなし、三原美妓酒間を幹旋し午後四時盛況裡に散會したが、同橋は田野村の双照院十世定屋和尚が多大の勞苦を厭はず、自ら託鉢して金敷を集めて之を資とし、寛政十一年起工し、二十六年後の天保五年竣工したが、數年後流失したので、定屋和尚は、さらに託鉢して嘉永三年再び架橋し

たので、藩主も之に感動して代官直轄の本
 寺格に進められ、世人は和尙の徳を仰いで
 定屋橋と稱へるに至つたのである。爾來春
 風秋雨橋脚破損し、明治二十二年縣費を以
 て架設へ、次で大正五年再び縣費を以て架
 換以來十有七年に及び腐朽遂に近代交通に
 堪へざるに至つたので、今回工事費二萬四
 千圓でコンクリート橋に改築することとな
 つたのである。

飯室の新道路完成

安佐郡飯室村古市宇津間縣道新設工事は
 縣費三萬圓と、職業紹介所費人夫賃の一部
 を併せて昨年十月中旬着手、爾來工事を進
 めてゐたが此の程全く完成し、縣の工事檢
 査をまつて開通も近く、鋪裝路面の處女肌
 滑く春陽に輝いてゐる。此道路の延長は約
 千間、幅員三間半で、完成と共に村道に拂
 下げられた從來の古市宇津間に通ずる舊縣
 道の幅員二間に比較し諸車交通上非常によ
 くなる譯である。なほ此の工事によつて職

を得た人夫は七千五百人（總延人數一萬百
 四人）此賃銀六千五百圓、短期間に於ける農
 村授職としては恰好の思ひつきであつた。

道路改修促進を決議

第七回廣島縣下商工團體聯合會總會は四
 月九日午前十時から吳商工會議所會議室に
 於て開催、出席者百十名で二宮縣商工主事
 臨席のもとに先づ吳商工會議所竹内副會頭
 主催者として挨拶を述べ、後左記路線の改
 良促進を決議した。

- 一、福山三原間國道を至急改修せられむこ
 とを知事に請願すること
- 二、吳廣島間國道海岸線促成を主務省に建
 議の件
- 三、福山尾ノ道間國道改修促進方要望の件
- 四、府中高蓋間國道施設要望の件

宮島觀光道路開通式

内務省直營で五日市新宮島間に築設の觀
 光道路開通式は、沿道關係八ヶ町村聯合の

開通祝賀協賛會主催のもとに四月九日午前
 十一時から廿日市町舊校地廣場で盛大に舉
 行、この日絶好の花日和に惠まれ、地元廿
 日市全町では朝來天空高く炸裂する祝賀ピ
 ラや軒提灯、花のシャンデリヤを街上高く
 吊すなど、賑々しく非常な盛況振りであつ
 た。來賓知事代理兒玉内務部長、坂本工學
 博士其他三百名、定刻嚴島神社の菊地宮司、
 速谷神社の山田宮司、關係各町村の社掌總
 動員で型の如く式は終始し、近藤主任技師
 の工事報告に次で祝辭、祝電披露等ありて
 高橋掛長の採配により愈々通り初めに移る
 頃群集數萬を算して雜沓甚しき中を二十餘
 輛の自動車は列を連ねて進む、沿道到る處
 萬歳聲裡に華やかなる通り初め式も終り、
 次で宮島終點に於て大祝宴は開かれ舞踏場
 では廿日市券番藝妓總出演の舞踊ダンス手
 踊等數十番あり、赤地に白く「祝開通」と染
 め抜いた小旗十萬本は行き交ふ人々の手に
 一々に繼へり各所の演藝場附近は身動きも
 ならぬ盛況であつた。

四 國 方 面

道路の維持と地元團體

愛媛縣に於ては大正十五年度以來毎年地元團體に對し相當の金員を交附して府縣道の維持修繕を請負はしめ、公共物愛護の精神を涵養すると共に道路の維持修繕に當りて居るが、左記團體は成績が良好なので本年度施行擔當に決した。道路愛護會五、在郷軍人分會二、町村四〇、青年團一一、消防組一、保安組合一、計六〇で其の道路延長は九一里一六町一八間九、此の所要費一七、九七〇圓である。

百十有七の道路團體

愛媛縣内に於ける道路愛護の團體は現在百十七に達し會員は毎年四季に一日宛出役奉仕を爲し、區域内の國道府縣道のみならず市町村道の維持修繕を爲し著々功績を擧

げて居るのであるが、今回同縣久米知事は益々其功果を優秀に導くため左の如く道路維持獎勵規程を制定して本年度から實施して居る。

訓第四六號

道路維持獎勵規程左ノ通定ム

右訓令ス

昭和七年四月一日

愛媛縣知事 久米 成夫

道路維持獎勵規程

第一條 國道府縣道ノ修理保全ニ努メ交通

ノ利便ヲ増進シ若ハ之ヲ助成シタル團體

又ハ本縣道路工夫ニシテ恪勤精勵職務ニ

忠實其ノ效績顯著ナリト認ムルトキハ本

規程ニ依リ之ヲ表彰ス

第二條 表彰ハ表彰狀ヲ授與ス但シ表彰狀

ノ外獎勵金ヲ交付スルコトアルヘシ

第三條 各土木出張町主任ハ其ノ管内ニ於

ケル毎年度ノ成績ヲ考査シテ效績調書ヲ

作製シ翌年四月末日迄ニ知事ニ申報スヘ

シ
第四條 效績調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘ
シ

一、效績者ノ團體名及代表者ノ住所、氏名、

道路工夫ニアリテハ氏名、拜命年月、年齢。

二、受持ノ路線名、區間、延長並ニ效績顯

著ナル事項詳細。三、效績者二團體又ハ道

路工夫二人以上アルトキハ其ノ順位。

附 則

本規程ハ昭和七年度ヨリ之ヲ施行ス

高須隧道開通式

高知市より徳島縣池田町を経て香川縣高

松市を結ぶ國道二十三號線中古來日本一の

大杉に名ある大杉村より分岐して、所謂高

知縣の嶺北一町六ヶ村を結ぶ本山高知線中

大杉村には高須峠の難所ありて道路狹隘急

坂曲路多く、交通上支障多大にして之が隧

道掘鑿による道路の改良は夙に關係町村民

の多年翹望する所なりしが、去る昭和五年

一月五日田中知事の英斷により工事着手以

來二年二ヶ月の歳月と二十三萬四千圓の巨費を投じて今般竣工三月十七日之が開通式を舉行した。當日は縣官、縣會議員、有志等多數出席し式後種々の餘興ありて當地方未曾有の賑を呈した。

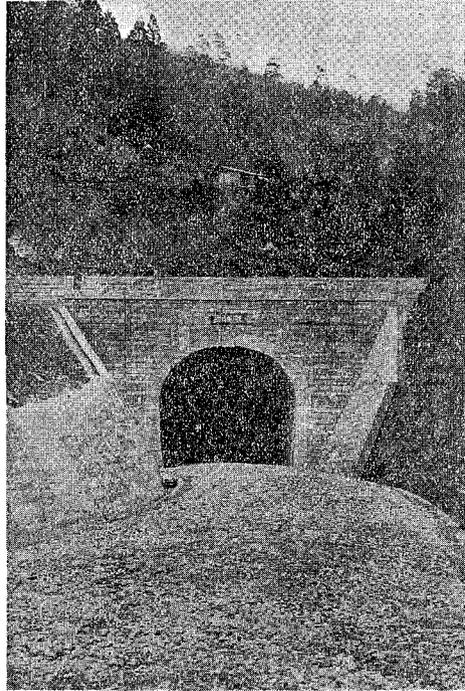
本隧道の概要は左記工事報告中にある如く之が竣成により距離を短縮すること一千二百間、今迄急坂最曲路の坦々たる道路となり、之れによりて一ヶ年荷物の運賃のみにて約四萬圓の減額を見ると云ふ。

工事報告

府縣道本山高知線中長岡郡大杉村地内高須隧道改築工事工ヲ竣へ本日ヲトシテ開通ノ式典ヲ舉行セラル、ニ當リ工事ノ概要ヲ報告セントス

壁ハ玉石混凝土ヲ以テ築造シ拱部ハ混凝土ブロックヲ以テ疊築シ巻厚ハ地層ノ硬軟ニ應ジテ一尺三寸、一尺五寸五分、一尺八寸トシ坑内ニハ大杉村寄附ニ係ル電燈十五個

ノ一最小半徑三間ニ比シ新道ハ三十分ノ一勾配ヲ最急トシ他ハ平坦ナルモノニシテ最小曲線半徑十五間トシ舊道ニ比シ距離ヲ短縮スルコト八百十五間舊道頂上ヨリ低下スルコト二百十五尺ニシテ交通運輸ニ最モ安全且ツ容易ナラシメタリ、本工事ハ日本鐵道工業株式會社之ヲ請負ヒ其ノ工ヲ起シタルハ昭和五年一月三日ニシテ爾來



高須隧道

ヲ設備セリ、他ニ附帶接續道路延長七百七十六間幅員二間半以上トシ總工費二十三萬四千圓ヲ要セリ本工事ハ路線ノ撰定隧道ノ位置ニ最モ意ヲ注ギ舊道ノ最急勾配十五分

ノ困難ニ遭遇セシコトアリシモ漸ク本日茲ニ此ノ盛典ヲ舉グルニ至リシハ之偏ニ上司ノ指導ト地方各位ノ援助擔當監督員、並ニ工事請負人ノ恪勤精勵ノ賜ニ外ナラズ

和五年一月三日ニシテ爾來年ヲ閱スル二年二ヶ月此間稀ニ見ル軟弱地層ニ遭遇シ暫々當初計畫ヨリ巻厚増加ノ必要ニ逼ラレ且ツ本山口道路切取部ノ崩壞ノタメ隧道二十一間ノ延長ヲ計ラザルベカラザルニ至ル等幾多

茲ニ工事ノ報告ヲナスニ當リ一言以テ感謝ノ意ヲ表ス

昭和七年三月十七日

高知縣土木課長

河合 清

九州方面

住吉參宮道路開通式

福岡縣博多西中洲から春吉を貫通し住吉橋に至る通稱參宮道路の開通式は四月十三日午前十一時半から春吉一番丁地先廣場で開催した。縣からは土木課長坂本一平氏知事代理として臨席し、市からは久世市長以下福井助役、秦收人役並に石橋、末松、大楠、長野、荒木、曾我、扇玉その他の市議及び地元關係者百餘名參列し住吉宮の矢口宮司の神事奉仕型の如く終始して正午式を了した。次で零時二十分博多商工會議所三階大ホールで祝宴に移つたが、午後一時半開通式萬歳を三唱して歡談裡に散會した。

地方通信

本道路は住吉町合併條件として市當局が計畫した路線で延長六百五十五間、路幅六間二十七萬の工費と五年の日子とを要したものである。

田主丸通の開通式

福岡縣浮羽郡田主丸本町上町横驛通りの道路擴張と三夜橋梁橋工事は曩に竣工したので、四月十九日午後一時から開通式を舉行した、當日新道路の兩側は櫻花、雪洞、幔幕等を以て満町大裝飾を施し、定刻地元の神主等により神事も型の如く濟み、小柳田主丸町長の式辭、川原甘木土木管區長以下多數の祝辭等ありて式は終へ、次で午後二時から行列を整へて擴張大通りから三夜橋へ通り初めの始まる頃には沿道群集を以て埋まり、此の通り初めの終はつたのは午後三時を過ぎたので直ちに立食場へ一同集まり、折からの餘興を賞しながら此盛況を語り合ひつゝ夕刻散會した。

遊覽地道路網計畫

耶馬溪、別府溫泉、英彦山、日田盆地を繋ぐ國際的大勝地遊覽コースに關する協議會は四月六日午後一時から中津市なる耶馬溪鐵道會社樓上會議室で開催された。曩に英彦山振興會第三回協議會には各關係筋から代表者十七名出席の上慎重協議を重ねた結果、大分、福岡の兩縣當局より後援を得て前記の大勝地を廻遊する道路網の完成を期し、之れが宣傳、施設の完備に努力する目的で筑豐觀光協會を設立することに決定し近く別府市で創立總會を開く運びになつた由で會長には高千穂男爵を推す事を申合せ午後九時散會した。